



2025年11月20日
国立大学法人北海道大学
日本航空株式会社

JAL×北海道大学病院 連携研修 客室乗務員向け「妊婦のハイレベルケア」を初めて実施

～妊婦にとっても安全・安心な空の旅へ～

国立大学法人北海道大学(北海道札幌市、総長: 寶金清博、以下「北海道大学」と)と日本航空株式会社(東京都品川区、代表取締役社長: 鳥取三津子、以下「JAL」)は、「サステナブルな社会創り」をテーマとした連携協定(*1)に基づく協業の一環として、2025年11月19日(水)に、JAL客室乗務員向けの連携研修「妊婦のハイレベルケア」を羽田空港にて実施しました。

研修講師には、北海道大学が運営する北海道大学病院の産科・周産母子センターより馬詰武(うまづめたけし)准教授をお迎えしました。機内という特殊な状況において、妊婦の体調が変化した際に求められる初期対応を学びます。医療従事者をお招きし、現役の客室乗務員へ具体的な研修を実施するのはこれが初めてです。



連携研修「妊婦のハイレベルケア」の様子

研修では北海道大学病院が保有する産科・新生児医療の知見をもとに、航空機内で妊婦の体調が急変した場面における、ケーススタディや低血圧や腹痛など具体的な症状を想定したシミュレーション、実務に合わせた講義などが行われました。

北海道大学とJALは、これからも業界の垣根を超えて連携し、人材育成をはじめさまざまな社会課題の解決に取り組めます。すべてのお客さまに安全・安心な空の旅を提供できるよう、サービス品質の向上に努めてまいります。

【「妊婦のハイレベルケア」連携研修内容】

- 北海道大学病院産科医による専門講義
 - 妊婦の腹痛の見分け方(危険な腹痛か経過観察可能かの判別と対処法)
 - 効率的な既往症・合併症の聴取方法
 - 医療従事者へのドクターコールの適切なタイミング
- 実践的なシミュレーション訓練
 - 妊婦の低血圧(脳貧血)発症時の体位管理
 - 物品準備、医療者のサポートなど

(*1)2022年6月7日付 プレスリリース「北海道大学とJALが連携協定を締結」
詳細URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202206/006713.html>

本研修は、馬詰武准教授による指導のもと、客室乗務員がサポートできる範囲の内容を講義いただきました。機内にて、客室乗務員による医療行為を促すものではありません。シミュレーションに必要な医療行為については、北海道大学病院の医療従事者が行っています。

以上

【お問合せ先】 日本航空 北海道支社 広報宣伝 011-232-7210
北海道大学社会共創部社会連携課 011-706-9705